

11

GARAGE LIFE EXAMPLE

庭と『スタイルコート』の見事な融合。 広々プライベート空間を大いに楽しむ! 東京都 S邸

通りから見れば、ガレージとカーポートが並ぶモダンスタイルな風景。
しかし、ひとたびその向こうへ足を踏み入ると、外からは思いもなかった広々としたウッドデッキと
草花の光景が広がっている。ガレージとガーデンルームに囲われた気持ちのいいプライベート空間だ。

text/Yuji-OHISHI(大石裕二) photo/Masayuki-YOSHIMI(吉見雅幸)
取材協力/株式会社LIXIL(TOEX) <http://toex.lixil.co.jp/>



庭のウッドデッキからは、愛車フェアレディZの魅力のなリアビューが楽しめる。『スタイルコート』の折戸パネルを奥側に設置したことで可能となった。

クルマを台置いても前後左右には余裕があるサイズ設定。このことも気に入った個所だ。天体望遠鏡やBBQグリルなど趣味のものを置き、楽しい空間に仕上げていきたいとのこと。



シルバーのフェアレディZが収まるスタイリッシュなガレージ。その奥の折戸パネルを開放すると、その向こうにはウッドデッキと目にもさわやかな草花の広々とした空間が広がっている。庭とガレージが融合した隠れ家的プライベート空間——S邸の魅力はここにある。

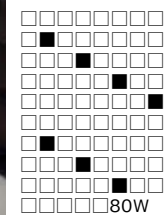
オーナーのSさんご夫妻は、9年前にこの自宅を新築した。その時には今ガレージと庭がある場所にはよその家が建っていたのだが、それが取り壊されたのをきっかけに約1年前にこの土地を取得。かねてより憧れていた庭、そしてガレージのある空間づくりに、胸ワクワクさせて取りかかったのだ。

まず最初に設置したのがガーデンルーム。2人それぞれ美容師をされているご夫妻は、1日の多くをエアコンの効いた室内で過ごしている。そのため、外の空気を感じる場所がほしかったのだという。このLIXIL製『暖蘭物語』は、既存の住宅にもワンルームプラスするようにして設置できるのが特徴。クリアパネルに囲われているので、冬はポカポカと暖かいサンルームになるし、今回のように開放せば、日差しを遮りつつも風が吹き抜けていく気持ちのいい

つろぎの場所になる。しかし、このガーデンルームだけではまだ不十分。目の前の広い空間は土のままだし、その向こうの道路を遮るものもない。そこでご夫妻は、庭の仕上げ、ガレージの設置をトータルでコーディネートしようと思い、『モーニングガーデン』社に相談することにした。

ご主人にとってガレージは、かねてよりの夢だった。実際に作れることになった時、色々なガレージを比較検討したご主人がいきついたのが、LIXILの『スタイルコート』だ。塗り壁で仕上げられた素材感のある自宅や、庭の草木とマッチする木製ガレージも考えたのだが、後々のメンテナンスに手がかかるといいうし、耐久性にも不安を感じた。その点『スタイルコート』なら、主要部分はアルミ製だからノーマントで済むし、耐久性にもなんの心配もない。それに、金属製ゆえの精悍なフォルムでありつつも、落ち着いたステンカラーと柿渋カラーの組み合わせが庭や塗り壁の優しい雰囲気との住環境にも驚くほどよく馴染むことが分かった。

こうして『スタイルコート』に決めたご主人は、いくつかの取り扱い店に連絡。その中で最も印象的な



11

GARAGE LIFE EXAMPLE
A RESIDENCE OF Mr.S

PLANNING DATA & MATERIALS

デザイン統一されたエクステリア。
散りばめられた草木が場を和ませる。



左 / 保管用のガレージに出入れしやすいカーポートの組み合わせが最近の定番。こちらは「キューブポート プラス」で、同じLIXIL製同士、デザインのマッチングは完璧。 右 / カーポートと庭との仕切りとして、LIXIL製「プラスG」が用いられている。半透明のパネル（一番上は透明だ）と縦のスリットを用いることで、やんわりとした印象に仕上げた。

対応してくれたのが「モーニングガーデン」社だったという。

「担当してくれた小林さんの“人柄”で決めたといってもいいと思います。本当に親身になって色々と考えてくれました。実は一時、どうしようかなど迷った時期もあったのですが、いい意味で後押しをしてもらいました」とSさん。

『スタイルコート』設置もそうだが、隣に並ぶLIXIL製「キューブプラス」のカーポート、そこから庭へと続く同じく同社製「プラスG」のエクステリアボード、そして庭のアレンジと、『モーニングガーデン』の小林さんがトータルで手掛けた。そのため、本当にバランスのよいまとまりとして仕上がっているのだ。

そうしてできた“額縁”の中に、花や木を植えていったのは、もちろんSさんご夫妻。さすが美容師！というセンスのよさが光っている。さらに、所々に据えられた枕木を設置したのはご主人のDIYだ。「まだまだ未完成、これから色々手をかけていきたいね」とご夫妻。庭のある暮らしに目覚め、楽しみだした様子のお二人だ。

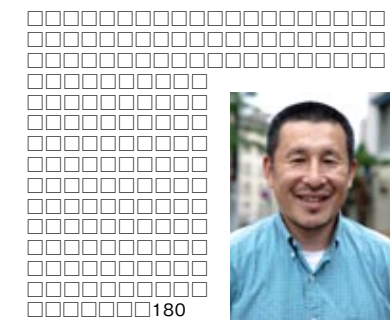
OWNER'S CHECK
■一番気に入っているところは？
庭とクルマ、一体感のある空間がいいですね。ガレージが道路からの目くしになって、外に出る機会も増えました。

■ちょっと失敗したところは？
ブロックの塀をレンガにしてもよかったかな。でもブロックも味のあるものを使ってよかったです。

■次の夢はなんですか？
ボルシェに乗ってみたいかなあ、なんて(笑)。妻は庭の緑を茂らせたいと思っているようです。

■読者へのアドバイス！
同じ目線で考えてくれるプロとつくことだと思います。事前にすべて検討したので、妥協もしましたが納得しています。

COMMENT FROM A BUILDER
モーニングガーデン
小林 敦さん



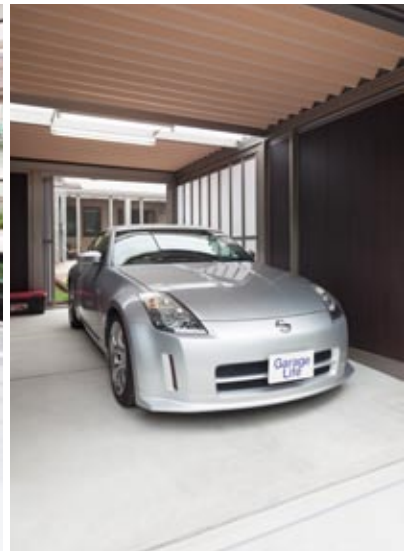
神奈川県相模原市
中央区弥栄2-3-8
phone/042-776-0035
<http://www.morning-garden.com>



上 / ガーデンルームからの眺め。ガレージの高さも、眺望を考えて慎重に設定された。広々としたウッドデッキ耐候製の高いウリン材で、低く設置。——こんな所でまったりしたいなあ！ 下 / ガーデンルームでくつろぐSさんご夫妻。このLIXIL「暖房物語」は家の外に増設するように設置できるのが特長。屋外の気持ちよさを手軽に味わえるオーブンリビングだ。



オーナーのSさんご夫妻。お二人ともに美容師で、庭やガレージのデザインにもセンスが表れているのがさすが。今後色々手をかけて、ゆったり楽しんでいきたいとのことだ。



左 / ガレージからつながる緑の庭に開放的なウッドデッキ、そしてアウトドアリビング(ガーデンルーム)。屋内と屋外をつなぎ、融合させたかのような構成が見事だ。右 / 「スタイルコート」の特長である折戸パネルを奥の面に設置した特別仕様。床は道路からのアプローチ部分にだけ傾斜があり、中央から奥は水平としたこだわり施工だ。

道路側から見た「スタイルコート」。併設された同じLIXIL製「キューブポート」とは相性バツグン。ミニクーパーの奥のエクステリアボード「プラスG」やフェンスなども同社製だ。